

2005年2月23日

報道用資料インドの新車の魅力度、6年連続で向上

2004年インド自動車商品性評価(APEAL)調査

CS(顧客満足度)に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社J.D. パワーアジア・パシフィック(本社:東京都港区、代表取締役社長:蓮見南海男、略称:J.D. パワー)は、2004年インド自動車商品性評価(Automotive Performance, Execution and Layout、略称APEAL)調査の結果を発表した。

当調査は、新車購入時から2~6ヶ月経過した車を対象に、性能や装備品、デザインに関する商品性魅力度についてユーザー評価を調べるものである。7年目となった今回の調査では、2004年1月から7月までに新車を購入した3,788人の個人ユーザーから回答を得た。調査対象車は、12メーカー、31モデルである。

評価の内容は、「エンジン/トランスミッション」、「乗り心地/ハンドリング」、「快適性/利便性」、「シート」、「内装/インパネ」、「空調関係」、「オーディオ」、「スタイリング/外装」の8つのカテゴリーで構成されている。

マルチ、ホンダ、トヨタ、タタの車が各セグメントでトップ

インドでは新車に関する商品性魅力度が6年連続で向上しており、業界全体のAPEALスコアは前回(2003年実施)より15ポイント増え、1,000ポイント満点中780ポイントとなった。また、調査対象となった11ブランドのうち7社のスコアが前回に比べて向上している。2004年も引き続き新型車やフルモデルチェンジ車が相次いでインド市場に投入され、これがユーザーの魅力度評価に良い影響をもたらした。メーカーにとって新しいスタイリングや装備品を備えた新モデルの投入は、そのモデルのライフ・サイクルの中でユーザーの購買心をそそる最大のチャンスと成り得る。今回、調査対象となった全モデルのうち3分の1以上が新型車やフルモデルチェンジ車であったため、購入した車に対するユーザーの満足度が高かったと考えられる。

セグメント別ランキングでは、プレミアム・コンパクトカー・セグメントでモデルチェンジしたマルチ・ワゴンRが第1位になった。前回まで4年連続で首位を維持していたヒュンダイ・サントロは第2位だった。第3位にはモデルチェンジ車のマルチ・ゼンが僅差で続いた。

エントリー・ミッドサイズカー・セグメントでは、806ポイントでマルチ・エスティームが第1位に

なった。エスティームは、先に発表した J.D. パワーの 2004 年インド自動車初期品質調査 (IQS) でも同セグメントでトップだった。以下、フォード・アイコン、タタ・インディゴの順となっている。

ミッドサイズカー・セグメントの第 1 位はホンダ・シティで、第 2 位にはマルチ・バレノ、第 3 位にはヒュンダイ・アクセントがそれぞれ入った。

プレミアム・ミッドサイズカー・セグメントではトヨタ・カローラがトップとなり、業界最高のスコアをマークした。第 2 位は最近、インドでの販売が開始されたシボレー・オプトラ、第 3 位はシユコダ・オクタビアだった。

MUV/SUV セグメントでは 2003 年からスコアを 28 ポイント伸ばしたタタ・サファリが首位となった。第 2 位にはトヨタ・クオリス、第 3 位にはマヒンドラ・ボレロが続いた。調査では新たに市場投入された SUV モデルは、既存モデルよりも商品性魅力度が著しく高いことが明らかになった。今回の調査でタタ・サファリは 2 年連続で同セグメントのトップとなり、調査対象車の中でも非常に高いスコアを獲得している。しかしながら今後は、ホンダ・CR-V やフォード・エンデバーなど、最近インド市場に新規投入された SUV モデルとの激しい競争に直面することが予想される。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は J.D. パワー・アンド・アソシエイツ (本社：米国カリフォルニア州) の日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。インターネット上でホームページを開設しており、会社概要や提供しているサービスなどの情報を次のアドレスで入手できる。

J.D. パワー アジア・パシフィック ホームページ <http://www.jdpower.co.jp>

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野

住 所： 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル (〒105-0001)

電 話： 03-3459-1865

F A X： 03-3459-1810

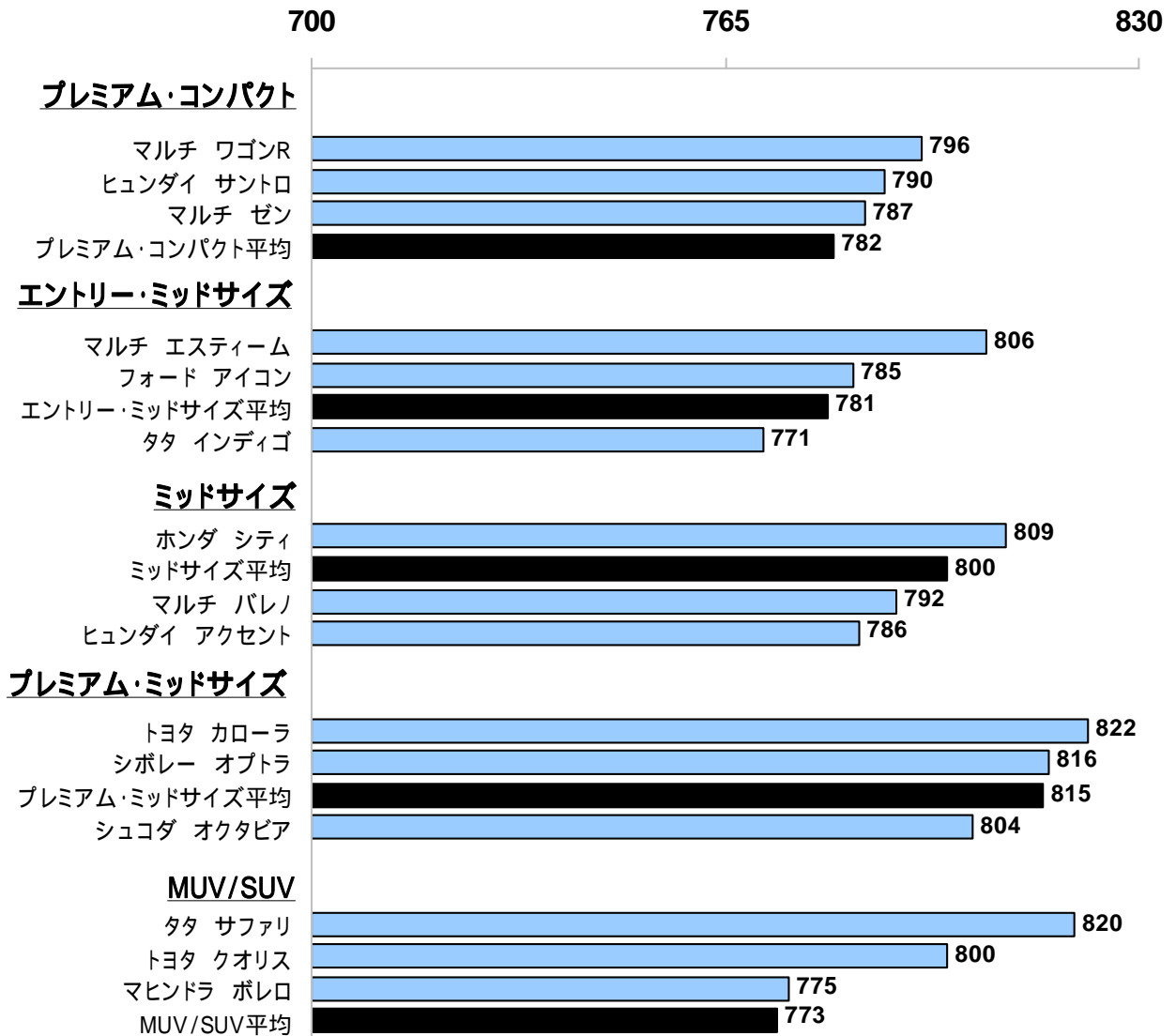
e-mail： mkawano@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株) J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2004年インド自動車商品性評価 (APEAL)調査SM

セグメント別ランキング トップ3モデル (1,000ポイント満点)



注) エントリー・コンパクトカー・セグメント、エントリー・ラグジュアリーカー・セグメント、MPV/バン・セグメントはサンプル数不足のため、ランキングは実施していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2004年インド自動車商品性評価調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2004年インド自動車商品性評価調査SM)を明記して下さい。